

## 冬に気を付ける消費者事故は？

毎日寒い日が続き、家の中で過ごす時間も増えてきました。冬期間の生活で特に気をつけるべき消費者事故について教えてください。

(80代女性)

### 暖房、除雪機正しく使用

寒さがますます厳しくなり、ほとんどの家庭でストーブやこたつ、電気毛布・カーペット、ヒーターなどの暖房器具を使用することと思いますが、空気が乾燥するこの季節は最も多く火災が発生する時期です。

消費者庁に寄せられた事故事例を見ると、ストーブやこたつで洗濯物を乾燥させたり、ヒーターに布団などが接触したりすることで火災が発生していました。火災を防ぐためには就寝時や外出時など、その場を離れるときは電源を切り、電源プラグを抜いておくようにしましょう。

洗濯物やスプレー缶など燃えやすい物を近くに置かないようにし、ヒーター部分はこまめに掃除し、ほこりやごみが付着しないようにしましょう。暖房器具もさまざまなタイプがあります。取り扱い上の注意事項をよく読んで正しく使いましょう。

ガスコンロや石油ストーブなどを利用した料理中に衣服に火が付き、やけどを負ったという事例も報告されています。火を扱う際は衣服が触れないよう服装に注意し、火元に近づき過ぎないようにしましょう。万が一、衣服に火が付いた場合は、脱ぐ・たたく・水をかけるなどして素早く消火し、やけどを負った場合はすぐに水で冷やし、医療機関を受診してください。

また、積雪が多くなると、歩行型除雪機を使用する家庭も多いと思います。国民生活センターによると、誤った使い方をしたことによる死亡や指を切断した例も報告されています。

使用前は定期点検を行い、特に安全装置が正常に動作するか確認しましょう。投雪口に詰まった雪を取り除く際は必ずエンジンを停止し、雪かき棒を使用して取り出しましょう。除雪作業中・収納中は周囲の障害物に注意し、特に後進時はゆっくりと進みましょう。安全装置が装備されているのに改造し無効化するのは大変危険です。正しく安全に使用しましょう。